私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します

ごとう

※７ページ掲載　４月20日　茶手揉み・釜炒り体験

ごはんぢゃワン©

5月号

JA ごとう
2014 No. 99

CONTENTS

☆ごとう農業協同組合　平成25年度事業報告
☆定休型肉用牛ヘルパー組合設立
☆「家の光」が五島のソラマメ農家を取材
・寄ってみらんかな　No.13　本山支店
・太陽と緑　五島がうまいの立役者　寺脇　政善さん
・女性部総会、青年部総会開催
・ＪＡ共済アンパンマンこどもクラブ会員募集中！

ごとう農業協同組合 平成25年度事業報告

1．五島農業と主要事業の概況

平成25年度ながさき農林業大賞県知事賞の受賞から、第43回日本農業賞大賞受賞まで高菜部会の活躍が大きな話題となりました。六次産業化の先進地として、全国から注目を集めており、土地利用型作物での農業振興に向けた取り組みが一層加速した年となりました。

また､台風被害や天候不順であったにも関わらず､値決め契約による販売やファーマーズ・マーケット「産直市場　五島がうまい」が好調な売上を維持したことから、今年度の農産物販売高は4,525百万円となりました。

A 農産園芸部門

主要品目で土地利用型作物である高菜、ブロッコリー、大麦・裸麦の面積拡大と、加工用キュウリなどの栽培・生産量の拡大を図りました。また、「産直市場　五島がうまい」への出荷用品目の栽培推進に努めました。

B 畜産部門

繁殖雌牛の増頭や優良子牛の生産を目指し、定期的に「五島肉用牛大学」を開催し、JA を中心に生産者及び関係機関が一体となり一戸一頭増頭運動に取り組みました。長崎全共での活躍により「五島牛」の名が全国へ広まり、「五島産素牛枝肉共励会」では上物率が過去最高の83%と、素牛能力の高さが際立った結果となりました。

子牛せり市については、購買者の積極的な誘致や全国的な素牛価格の高騰に伴い、前年より高いせり値で取引されました。

子牛共同育成施設については、肥育農家が求める素牛づくりに努め、市場性の高い優良子牛の生産に取り組みました。肥育施設については、管理技術の向上により良質な牛肉生産に努め、安全・安心を求める消費者ニーズに対応し、経営の健全化に努めました。

飼養管理技術向上に向けた研修会の開催や経営改善のための巡回指導を行いました。養豚については種豚の更新や飼養管理の改善による上物率の向上に努めました。

C 販売事業

- 畜産部門販売高は2,420百万円、農産園芸部門販売高は2,105百万円、両部門合計4,525百万円の前年度対比112.1%と過去最高の販売高
- ファーマーズ・マーケット「産直市場　五島がうまい」並びに上五島地区への直売事業の拡大など

D 購買事業

- 購買合計については増税前の駆け込み需要の影響もあり、5,342百万円（101.4%）の実績でした。生産資材についても販売高の伸びと相まって、1,664百万円（111.5%）を達成

E 信用事業

- 貯金の期末残高目標の57,200百万円に対し55,917百万円（97.7%）の実績（前年度対比100.4%）
- 引当金については法的回収や任意売却、償却処分等に努めた結果、不良債権比率が低下しました。今後も継続して改善に努めます。

F 共済事業

- 共済事業では、「ひと・いえ・くるま」の総合保障確立を目指し取り組みを進めました。自動車共済の短期共済、長期共済についても高齢化に対応すべく登場した介護共済の推進に取り組み、前年対比100.3%、計画対比96.4%となりました。

2．総合収支実績（懸案事項であった固定比率100%を達成！）

主要事業の取扱量については管内人口の減少に伴う市場規模の縮小や経済情勢等により、厳しい状況にありましたが、消費増税前の駆け込み需要や、素牛価格の全国的な高値を好材料とし、併せて、事業管理費の抑制等の合理化・効率化に努めた結果、事業利益で計画対比54百万円増の184百万円となりました。また、事業管理費については2,108百万円で、比率を97.8%に抑制することができました。

このように、最終的には当期剰余金の計画127百万円に対し、88百万円増の215百万円を計上することができました。剰余金処分については目的積立金の積み増し等、付加資本の増強に充てさせていただき、法令により改善が求められていた固定費率の100%達成したことをご報告させていただきます。このような決算をすることができたのも､ひとえにご利用いただいた組合員皆様のおかげであり､1％の出資配当並びに肥料・飼料・農薬の利用高に応じた事業分量配当をご提案させていただきます。

TOP NEWS

五島地域定休型肉用牛ヘルパー組合　設立！

前列左から３人目が中村ヘルパー組合長

当ＪＡ畜産事業所で三月二十五日、県内初となる定休型肉用牛ヘルパー組合の設立総会が開かれ、四月からの本格的な運用に向けた協議が行われました。この組合は畜産農家の高齢化や後継者不足などに対応し、休みを設けることによる負担軽減が目的。二年間開催されていた五島肉用牛大学での先進的事例がきっかけとなり、三月まではヘルパーの田端九二雄さんをＪＡの臨時職員として雇用。ヘルパーの研修を行うと同時に、農家は試用期間として無料で制度を試すことができました。

総会には発足メンバー十一名をはじめ、ＪＡ、関係機関など合わせて二十名が出席。会の冒頭でＪＡの中尾弘一組合長が「肉用牛では県内初の取り組みということで、大学の大きな成果の一つと考えている。休みを設けることで、農家のリフレッシュはもちろん、後継者へ向け魅力ある農業を発信できれば」と挨拶し、産地振興に向け、ＪＡとしても支援していくと語りました。

設立総会で就任の挨拶を行う中村組合長

同ヘルパー組合の初代組合長には中村酉幸さんが就任。「他の先進地と同様発足メンバーは少ないが（ヘルパー制度の）良さが広まり、組合員が増え、一戸一頭増頭運動に繋がっていけば」と挨拶。四月からの本格運用に向け、大きな一歩を踏み出しました。同組合では今後も新規組合員の募集を行うとともに、それに伴うヘルパーの増員も検討しています。

（日本農業新聞四月一日掲載）

子牛にミルクを与えるヘルパーの田端さん

「家の光」五島産ソラマメ取材

出口部会長㊧と宮本さん

旬を迎えたソラマメ

産直市場「五島がうまい」にて

当ＪＡで四月十一日、一般社団法人家の光協会が発行する雑誌「家の光」が五島産のソラマメを取材しました。この企画はキユーピー㈱とタイアップした広告ページ「宮本和秀が訪ねる　いきいき地産地消ライフ」で、「キユーピー3分クッキング」などでおなじみの料理研究家、宮本和秀さんが生産者を訪ねインタビューする内容となっています。

今回宮本さんが訪れたのは旬を迎えたソラマメの生産者でＪＡ蚕豆部会の出口勝博部会長。部会長は五島市福江地区の十㌃の畑でソラマメを栽培しており、毎年高い品質を誇っています。宮本さんは力強く天に向かって伸びるソラマメをその場で一つ味見し、「とれたては生でも甘味が強く、とてもおいしい」と五島の自然が育んだ実りを表現。また、生産者ならではのおいしい調理法や、作業する上での苦労などを尋ねました。

畑での取材終了後にはＪＡの産直市場「五島がうまい」を訪れ、新鮮な農産物についても取材。今回の取材内容は「家の光」七月号（六月一日発刊）に掲載予定となっています。

（日本農業新聞四月十五日掲載）

説明を行う出口部会長

「家の光」6月号好評発売中！

第７回　JA ごとう女性部通常総会

４月13日　福江総合福祉健康センター

笑顔はじける健康体操

本部役員によるスコップ三味線

大津支部によるフラダンス

山内支部による踊り

当ＪＡ女性部は四月十三日、五島市三尾野町の福江総合福祉保健センターで第七回女性部通常総会を開きました。会には女性部員、関係機関約二〇〇名が参加し、総会やアトラクション、講演会などが行われました。

総会の冒頭で橋下繁子女性部長が挨拶し「高齢化や人口減少によって部員数も年々減少しているが、地域の食農教育活動や消費者との交流会において、女性部員が一つになって取り組むことが出来た。今後も青年部、地域との連携強化やフレッシュミズリーダーの育成に力を注ぎたい」と話しました。また、総会では本部役員の選任も行われ、鶴川栄子副部長が女性部長に選任されました。

午後からのアトラクションでは各支部から選りすぐりの芸達者がフラダンスなどを演じて花を添えました。また、「女性が元気！ＪＡが元気！地域が元気！」と題し、一般社団法人家の光協会協同・文化振興本部の板野光雄文化委員がＪＡ女性部の歴史や農家戸数の変遷などを基に、今後のＪＡ女性部のあり方や新規部員の獲得に向けた取り組みについて講演。

ＪＡ女性部では今後、従来の重点目標の他に今年度新たに加わった目的別グループの立ち上げと活動の活性化に向けた取り組みを計画しています。

（日本農業新聞四月二十日掲載）

家の光文化委員　板野先生による講演

新本部役員の就任あいさつ

高菜などの農産物即売

つや姫・コシともに生育順調

ー早期水稲苗配布ー

当JAでは四月八日から早期米の苗配布が行われました。JA管内ではコシヒカリと昨年度から本格的な栽培が始まった、特別栽培農産物（特栽）つや姫を早期で栽培。JAでは三月上旬に約三一〇〇〇箱の早期米コシヒカリの播種を行っており、五島市増田町にある同JAの育苗施設で育てられた苗はおよそ一二六〇〇箱となりました。管内三カ所で育てられた苗は約三六〇戸の農家へ配布され、各農家で田植えを行います。平成二十六年産の早期米コシヒカリは約一五六㌶での栽培が計画されています。

JA担当者は「昨年に引き続き今年の苗も順調に育ってくれた。今後も天候に恵まれ、収量・品質ともに良い米ができれば」と苗の出来に自信をのぞかせました。

今回、田植えを行うものは、早いところではお盆前に収穫を迎える見込み。今後、JAでは早期米から食味が良く、需要の高い普通期米への転換を行う方針です。

積み込まれた苗を各農家へ配布

削蹄協力で農業振興

ー青年部本山支部せり出荷牛削蹄ー

当JA本山支店管内で四月十二日、青年部員が中心となって五月のせり市に出荷予定の子牛の削蹄が行われました。この取り組みは青年部が中心となって行われているもので、農家の負担軽減につながっています。五島家畜市場では平成二十五年一月から上場される子牛の削蹄を行っており、購買者のニーズに合わせた市場づくりを行っています。削蹄の目的は牛の脚にかかる負荷軽減や体重のバランスを良くするため、発育の向上などがあります。

この日削蹄を依頼した五島市吉田町の野口一さん（76）は「せりの前にいつも頼んでいる。以前は自分で削蹄していたが、危険を感じたこともあり、（この取り組みがあって）助かっている」と述べました。作業にあたった青年部の寺脇政善さん（39）は「たくさん削蹄しなければ上手にならない。感覚によるところが大きいので、若い部員を中心に作業してもらっている。少しでも農業振興の役に立てれば」と語りました。

JA管内全体でこうした取り組みが行われており、若手農家を中心に基幹産業である畜産の振興を図ります。

（日本農業新聞四月二十二日掲載）

削蹄を行う青年部員

品質・収量ともに期待

ー一番茶初摘み会ー

当JAで四月十六日、平成二十六年産五島茶の初摘み会が開かれました。五島市下大津町のごとう茶生産組合の茶園で行われた今年度の初摘み会には関係機関、生産者などおよそ三十名が参加。今年産の五島茶の栽培面積は六十㌶、栽培戸数は二十戸で、この日は早生品種である「さえみどり」が摘み取られました。冒頭ではJAの中尾弘一組合長が「JAとしても販売に力を入れ、ギフト商品や直売所を中心に五島茶をPRしていきたい」と挨拶しました。

昨年度は春先の冷え込みが厳しく、霜害、潮風害によって減収や一部品質の低下がみられました。今年産の五島茶については今のところ大きな気象災害もなく、順調に収穫を迎えています。会では、美しい新芽が一面に広がった畑を茶摘機で一番茶を刈り取っていきました。

収穫された茶葉は岐宿町のJA製茶工場で加工され、佐賀県嬉野市にある西九州茶連でせりにかけられます。JA担当職員は「五島茶は西九州茶連が主な販売先だがJAの買い取りによる販売も行われている。今後は直売所やインターネット販売などの販路拡大に努め、五島茶をPRしていきたい」と話しています。

（日本農業新聞四月十九日掲載）

良質な一番茶の刈り取り

それぞれの思い胸に

―26年度入組式―

当JAは四月一日、JA本店で平成二十六年度の入組式を開きました。今年度の新入職員は四名で、それぞれが期待に満ち溢れた式となりました。

冒頭の挨拶で中尾弘一組合長は「JAは一般企業とは違い、組合員の所得・生活水準の向上が目的。地域貢献や自己啓発に努め、信頼されるJA職員に」と激励の言葉を送りました。また、農産園芸部に配属が決まった具志堅将太さん（20）は「信頼される職員を目指し、農家の皆様にプラスになる仕事ができるよう頑張りたい」と決意の言葉を述べました。

新入職員らは式終了後下五島地区の施設を見学。二日には島を渡り、上五島地区の施設見学を行いました。

（日本農業新聞四月三日掲載）

辞令を受ける具志堅職員

手づくり茶と五島牛ハンバーグに舌鼓

―第11回フレッシュミズ部会総会―

当JA女性部フレッシュミズ部会は四月二十日、JA本店で第十一回総会を開きました。総会前には産直市場「五島がうまい」の三周年創業祭と連携し、五島茶の釜炒り・手揉みを親子で体験し、貴重な体験となりました。

総会では平成二十六年度の予算案などを決議したほか、新役員の紹介もあり、部会長に富江支部の田口敏江さん、副部会長に大津支部の橋本正江さんと崎山支部の川崎佐代子さんが就任しました。

また、総会終了後には「五島がうまい」農家レストランで五島牛ハンバーグに親子で舌鼓を打ちました。参加した子どもたちからは「出来たてのお茶も、ハンバーグもおいしかった」と大満足の感想を聞くことができました。同部会では今後もこうした体験型のイベントを行い、部会員の獲得をはかる計画だ。

（日本農業新聞四月二十五日掲載）

香りが広がる手づくり茶

ハンバーグに大満足の子どもら

海を越えた出会いに

―青年部婚活事業―

当JA青年部は三月二十八日、新上五島町七目郷の竹酔亭で平成二十五年度の婚活事業を行いました。同青年部はJA管内の中でも下五島地区を中心に食農教育などで活躍しており、上五島地区での婚活は初めてとなりました。青年部員六名と上五島地区の独身女性十名が参加し、お互いのアピールポイントや作っている品目についての話を通じて交流を深めました。

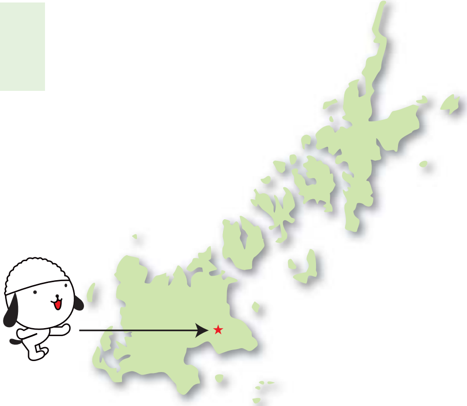
当初は女性陣に比べ、おとなしかったいわゆる「草食系男子」も徐々に打ち解け、「次回は、下五島地区で一緒に農業を体験しましょう」と積極的に働きかけていました。JAでは平成二十五年度、後継者育成対策積立金を活用し、婚活事業の他にも、先進地への視察研修への助成などを行っています。次年度も剰余金の一部を積み立てる計画で、こうした婚活のサポートにも引き続き力を入れ、担い手の確保に努める。

（日本農業新聞四月八日掲載）

和やかな中にも猛アピール!?

よってみらんかな

No.13 本山支店



基本データ

- 正組合員戸数：341戸
- 准組合員戸数：302戸
- 基幹作目：高菜、スナップエンドウ、南瓜など
- 支店職員数：22人

管内のおすすめスポット

支店から車で５分の場所にある五島家代々の祈願寺です。国指定の重要文化財も安置されています。

♪本山ってこんなところ♪

本山支店の入口です。本山支店は本山地区・大浜地区を管轄しており、高菜やカボチャ、スナップエンドウなどの栽培が盛んです。

四月の人事異動により、職員の顔ぶれも新しくなりました。これからも組合員の皆様に信頼される支店を目指し、このメンバーで心機一転頑張って参りますので、よろしくお願い致します。

太陽と緑
五島がうまいの立役者 NO. 48

五島盛り上げる青年部に

五島市吉田町
寺脇（てらわき）　政善（まさよし）さん（39）

寺脇さんは現在、父の功さんと繁殖牛四十五頭の飼育と飼料作物、高菜の栽培を行っています。

JA職員を経て就農

平成十八年に就農し、農業を始めて今年で八年目となる寺脇さん。就農以前はJAの職員として、農産園芸部、畜産部で活躍されていました。親が農業をしていたこともあり、当時から自分でも農業をしたいと思っていたそうです。十五年前に結婚され、現在は二児の父親でもあります。

五十頭規模の牛舎には勢いよく牧草を食べる牛が並んでいました。「特に気を付けていることはないが、病気の早期発見・治療を心掛けている」と語っていました。

青年部長として

四月二十五日の青年部総会で選任され、今年度から青年部長に就任した寺脇さん。就任後の部の展望についてお聞きしたところ「現在、精力的に行われている食農教育や視察研修に加え、後継者育成対策積立金を活用し、以前の機械銀行のような仕組みを提案したい。部員を獲得するため、目に見える形でのメリットをアピールできれば」と意気込みを語りました。

増頭・一貫経営目指す

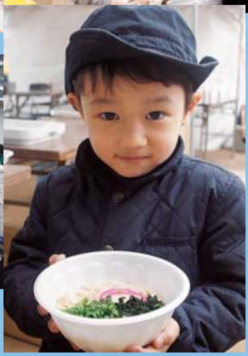
牛舎内の牛の大半が自家保留のものということで、今後五十頭まで規模拡大したいという寺脇さん。また、現在各地で取り組まれている繁殖・肥育一貫経営にもチャレンジしたいということです。青年部長として、また五島の農業を元気にする中心人物の一人としてますます注目されます。

産直市場

五島がうまい・直送便

4/18(金)～20(日)

「五島がうまい」3周年大創業祭



　当JA産直市場「五島がうまい」で4月18～20日にかけて、オープンから3周年を記念した感謝祭が開かれました。平成23年4月にオープンしたこの直売施設は、生産者と消費者のかけ橋として、多くの地域住民や観光客に親しまれており、平成24年度5億200万円だった売り上げが昨年度は5億2500万円となりました。好調な売り上げの要因は出荷協力会員の増加に伴う出荷物の増加で品揃えが充実した点などが挙げられます。

　創業祭では、農産物の即売や五島豚、五島うどんの試食会、各種団体によるフリーマーケットなども行われ、3日間でおよそ3000名の来場者が訪れました。JA直売部担当者は「今後も消費者と出荷者の交流の場として、また地域性も考慮した観光客が気軽に立ち寄れる直売所を目指したい」と語りました。

私が作りました！

富江支部　**大石　哲人**さん(61)

　産直市場「五島がうまい」がオープンしたときから生食用の「たべてご卵」などの鶏卵と鶏肉を出荷しています。

　4月より飼料をリニューアルし、さらにおいしいものができました。安全・安心をモットーに手塩にかけて育てておりますので、ぜひ一度お試しください。

モツ好きにはたまらない
親鳥一羽分（1,500円）

たまごかけご飯でどうぞ！
たべてご卵（6個150円）

Ａコープ浦桑店だより

長年愛される地元の味
市川商会（パン）

豊富な種類が並ぶ

4種の味が楽しめます

食パンの砂糖がけ

新鮮素材のサンドイッチ

・ミニパンは焼きたてで特に人気です。ぜひ一度ご賞味ください。

※上地区Ａコープ店にて好評発売中（写真は浦桑店）

お買い得！セール情報

○5/3(土)～5/9(金)
ゴールデンウィークセール

○5/10(土)～5/16(金)
母の日セール

○5/17(土)～5/23(金)
がんばれ！運動会フェア

○5/24(土)～5/30(金)
中総体応援セール!

上五島の新たな名物が誕生!

地元産食材にこだわった 五豚（ごとん）うどん

PR する舛田会長

地元産食材がたくさん

上五島でこの度新たな名物料理が開発されました。五島うどんをはじめ、ブランド豚五島美豚や地元産野菜を使用したこだわりの一品となっています。この料理は「五豚（ごとん）うどん」と名付けられ、五島市と新上五島町が申請し、一般社団法人日本記念日協会が登録した、今月10日の「五島の日」にあわせ510円（おにぎり付き）で好評発売中です。

スープには上五島名物のあごだしをベースに五島美豚と野菜のだし、国産豚皮を原料としたコラーゲンも入っており、女性にも嬉しい一品となっています。ちゃんぽんのようなコクのあるスープとツルツルした五島うどんの相性は抜群で、安全・安心な地元産野菜もたくさん食べられます。

料理を開発した㈱ますだ製麺の舛田安男会長は「これまで五島牛を使ったカレーなどを作ってきたが、五島豚のおいしさも知ってほしいと企画した。野菜、うどんを含め、ほとんどが地場産なので、安心して多くの人に食べてもらいたい」と語りました。

第31回　ＪＡごとう青年部総会

４月25日　ＪＡごとう本店

新執行部の方々（右から３人目が寺脇部長）

ＪＡ青年部綱領の唱和

ＴＰＰ交渉断固反対に関する特別決議

当ＪＡ青年部は四月二十五日、ＪＡ本店で第三十一回青年部総会を開きました。ＪＡでは平成二十四年度から剰余金の一部を後継者育成対策積立金として造成。昨年度までに三〇〇〇万円を積み立て、その一部を青年部員の島外研修費用や婚活事業に充てています。

総会に先立ってＪＡの中尾弘一組合長が「二十五年度はＪＡ青年部綱領に基づいた活動を展開してもらった。今年度も五島農業の中心として活躍してもらいたい。また、後継者育成対策積立金も有効活用して頂きたい」と挨拶。会では二十六年度の活動計画や予算案が決議され、役員選任では新しい部長に本山支部の寺脇政善さん（39）が選ばれました。また、会ではＴＰＰ交渉断固反対に関する特別決議も満場一致で採択されました。

青年部では今後も管内小学校と連携した食農教育活動の支援や、女性部との交流拡大、積立金を活用した婚活事業などの充実を図り、部員の獲得に力を入れる方針です。

地域と連携した米づくり

―川原小学校田植え―

当ＪＡ青年部西部支部は四月二十二日、岐宿町の市立川原小学校で食農教育（田植え）を行いました。同校周辺は管内でも有数の米どころとして知られ、毎年食農教育で水稲とサツマイモを育てています。この日、参加したのは同校の三年生と五年生、青年部、地域住民などおよそ四十名。

児童らは青年部員らから苗を受け取り、恐る恐る田んぼに入ると「ひんやりとして気持ちいい」といった声が上がりました。今回、植えた苗はコシヒカリで、同校で毎年秋に開かれる「川原っ子まつり」で振る舞われるカレーに使われる予定。児童らと田植えを行った同校の平村美恵子教諭は「青年部や地域の方々とこうして田植えを体験することで、子どもたちが農業の大切さや食について関心を持ってくれれば」と話しました。

青年部では今後も小学校や地域、直売所などと連携し、各地域に合わせた食農教育活動を展開する計画です。

苗を手に笑顔の児童

上地区 電化ショー のお知らせ

場所：新上五島町石油備蓄記念会館

日時：５月31日（土）午前９時～午後５時まで

　　　６月１日（日）午前９時～午後４時まで

○お問い合わせは・・・

ＪＡごとう上五島支店（52－2722）まで

JAの補聴器
JA組合員様限定

聴こえの安心サポートプラン

			プレミアムプラン	デラックスプラン	スタンダードプラン
補聴器	型式	補聴器の形や大きさのことです。聴力に合った型式をご提案させて頂きますので、お好みにも合わせてお選び下さい。	110 3series	90 3series	70 3series
補聴器	機種	補聴器のグレード（性能）です。たとえ見た目は同じでも機種によって聴こえが異なります。	メーカー希望小売価格 両耳760,000円 片耳380,000円	メーカー希望小売価格 両耳520,000円 片耳260,000円	メーカー希望小売価格 両耳440,000円 片耳220,000円
アクセサリ	電池	ご購入後、プランに応じて電池を無料でお渡し致します。	4年分 相当無料	3年分 相当無料	2年分 相当無料
アクセサリ	保管道具	乾燥ケースで使用する交換用シリカゲル（乾燥剤）は定期的な交換が必要です。	4年分 相当無料	3年分 相当無料	2年分 相当無料
組合員様 限定価格			両耳500,000円 片耳280,000円	両耳400,000円 片耳220,000円	両耳340,000円 片耳200,000円

※電池の数は補聴器の型式に応じて異なります。

・安心サポートプランでは御座いませんが、ご予算に合わせた各種補聴器もございます

その他のサービス

●組合員様でご購入を検討されている方は↓↓
ご希望の補聴器を実際の使用環境にて『最大2週間試聴』して頂き、納得されてから購入することができます

●各種聴力測定無料・相談無料

詳しくは、JAごとう　経済部　又はJA各支店・各出張所までお気軽にお問い合わせ下さい
〒853-0041 長崎県五島市籠渕町2450-1　　TEL:0959－72－6585

「ひと」「いえ」「くるま」お任せ下さい！

―平成26年度 LA 進発式―

当ＪＡは四月三日、ＪＡ本店で平成二十六年度ＬＡ進発式を開きました。組合員や利用者満足度向上に向けた対策として担当エリア制の導入などが提案された式には、ＬＡ、役員など約三十名が出席。

式ではまず、七月に二年連続となる全国表彰を受ける有川支店ＬＡの浦田悟司調査役の紹介が行われ「目標を大きく持ち、全ＬＡ目標必達に向けて頑張ろう」とあいさつ。また、ＪＡの中尾弘一組合長が「二〇一三年度は過去三年間で一番良い実績を残していただいた。今年度も相互扶助の精神を胸に、研修を通じて得た高い知識を武器に、お客様へ提案してほしい」と激励の言葉を述べました。

ＪＡでは今年度、３Ｑ訪問活動の更なる充実や担当エリア制の導入、若年ファミリー層向けのサービスアップを計画しており、顧客満足度の向上につなげたいとしています。

（日本農業新聞四月十日掲載）

決意表明をする松藤ＬＡ

新任ＬＡ職員紹介

上五島支店　管理金融課 LA 統括
川崎　隆泰

この度の定期異動で上五島支店にLAとして戻って参りました。皆様のお役に立てるような商品提案を心掛けていきますので、よろしくお願い致します。

本店　共済部　共済 LA 課係長
濱里　和美

この度の異動により、本店共済LA課に配属となりました。

共済事業は初めてで、不慣れな点もありますが、先輩LAに学びながら、組合員や地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

本店　共済部　共済 LA 課
野原　康弘

今回初めてLAに配属されました野原です。共済に関してはまだ知識も浅く、学ぶべきところがたくさんありますが、組合員の方々や地域の方々のお役に立てるアドバイザーを目指して頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

上五島支店　管理金融課　LA
松藤　竜也

この度の定期異動で上五島支店管理金融課にLAとして配属されました。

組合員の皆様に大きな安心と満足をお届けできるよう頑張りますので、訪問した際にはよろしくお願い致します。

JA共済

アンパンマン こどもくらぶ

©やなせ・F・T・N

anpanman kodomo club

子育て中のみなさまに
うれしいお知らせです！

会員募集中！

入会金・年会費無料

先着100名様

募集期間：平成26年4月～平成26年9月末まで
会員期間：平成26年4月～平成27年3月末まで

会員特典

- 会員になるともれなく、出産・育児に役立つ育児雑誌を（最高6回）プレゼント！
- 出産のお祝いとしてアンパンマングッズをプレゼント！
- 各種キャンペーンのご案内など、お得な情報をお届けします！

会員資格

ＪＡごとう管内在住で子育て中の方ならどなたでも会員になれます。

申込方法

ＪＡ窓口に設置している所定の申込書に必要事項を記入のうえ、最寄りの窓口、またはお伺いした職員へお話しください。

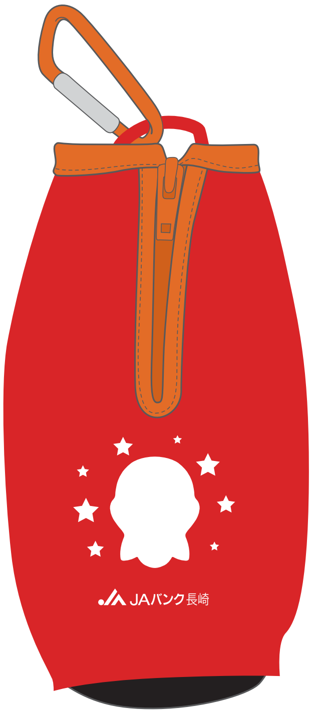
●お問い合わせは・・・・・ＪＡごとう 共済部　こどもくらぶ事務局　ＴＥＬ:0959-72-6213

JA共済

金融部からのお知らせ

期間中はさらに！

ちょきんぎょ
ペットボトルホルダーを
プレゼント!!



※イラストはイメージです。
※プレゼントは数に限りがあります。

編集後記

春は出会いと別れの季節ですが、当組合でも先の人事異動で大幅に職場のイメージが変わり、心機一転、それぞれの仕事に取り組んでいます。

また、春は私の大好きな山菜のシーズンでもあります。上五島のツワをはじめ、タラの芽、タケノコなど少しほろ苦さが残る味はビールとの相性が抜群で、メタボに向かって一直線な状態です。日が長くなってウォーキングを始めるには絶好の季節になってきたので、今年度こそ「継続」を目標に一日一運動を心掛けたいと思います。

（紙漉　諒）

産直市場
五島がうまい
住所：〒853-0041　五島市籠渕町2450-1
電話：0959-88-9933　FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時
※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）
16時～19時30分
※土日限定バイキング　11時～15時
（通常メニュー）　16時～19時30分
料金　大人：1,050円　子ども：600円（小学生以下）
定休日：毎月第1・第3月曜日（祝日の場合は営業、振替なし）

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する
株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館
【本店】
〒853-0041　長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211　FAX 0959(74)5266
【上五島支店】
〒857-4404　長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417　FAX 0959(43)1955

ごとう農業協同組合
●JAごとうNo.99 ●発行／ごとう農業協同組合　編集／総務部総務課　〒853-0041　五島市籠渕町2450番地1　☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp　●印刷／(株)昭和堂